

環境に係る情報協議会 国営緊急農地再編整備事業 愛別地区

1. 事業の概要(案)

◆事業の目的

本地区は、小区画、不整形及び排水不良なほ場が多く、効率的な農作業が行えない状況にある。これらのことから、担い手への農地の利用集積が進まず、耕作放棄地が発生するおそれがある。

このため、本事業により区画整理を行い、農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域活性化に資することを目的としている。

◆受益面積 1, 253ha

◆主要工事計画(案) 区画整理

2. 愛別町の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

《現状》

○愛別町は、遠くに大雪山連邦を見渡すことができ、町の中を多くの河川が流れている。その周辺には、のどかで自然豊かな田園風景が広がり通過する人々の心を和ませている。

《課題》

○町内を流下する石狩川や愛別川、これに連なる小河川が流れており、これら河川の生態系を崩すことなく整備することが求められている。

※愛別町田園環境整備マスタープランより

◆環境保全の基本的な考え方

・豊かな自然環境を大切にしながら安全で快適な環境を整備し、自然と調和する環境を推進し、美しい農村景観の形成などの多面的機能を十分に発揮できるように考慮しながら、これら地域の地域環境の保全に努め、自然と調和するうるおいのあるまちづくりを目指していく。

3. 環境配慮計画

◆基本方針

本地区の水辺や樹林隣接部の緑地には、多様な動植物が生息・生育しているとともに地域景観として重要な構成要素となっている。これらの生息環境や農村景観に配慮、保全した整備計画を検討し、自然環境に配慮する必要がある。

◆取り組み内容

《生態系への配慮》

○魚類の生息環境、河川の水質保全に配慮し、区画整理工事実施中の濁水流出防止に努める。

○工事区域内に、両性類の卵のう及び個体を確認した場合は、工事区域外の生息に適した場所に移動する。

《景観への配慮》

○用水路のエアーステッキの色彩は、自然景観との調和に配慮した色を採用し、景観の保全に努める。